

花婿の配偶者としての花嫁を用意する (1)

花嫁の用意

聖書：啓 19:7-9, 11-16. 21:2. ヘブル 6:1. エペソ 4:13, 15-16. 5:27. 雅 4:7

- I. 今日の主の行動の方向は、花婿の配偶者としての花嫁を用意して、贖う神と彼の贖われた人を永遠に結婚させることです——ヨハネ 3:29. 啓 19:7-9. 21:2, 9-11。
- II. 小羊の婚姻は、神の新約エコノミーの完成の結果です。神の新約エコノミーは、キリストの法理的な贖いを通して、彼の神聖な命における有機的な救いによって、キリストのために花嫁、すなわち召会を得ることです——創 2:22. 啓 19:7-9. 21:2. ローマ 5:10。
- III. 主の回復は、すべての勝利者から成る花嫁を用意するためです——啓 19:7-9. ローマ 8:37 :
- A. すべての勝利者は、キリストの花嫁として千年間、その開始と新鮮な段階における新エルサレムとなります——啓 19:7。
- B. 最終的に、すべての信者たちは勝利者たちに加わって、新エルサレムを満ち満ちた方法で究極的に完成し、完全にし、新天新地においてキリストの妻となつて、永遠に至ります——21:2, 9。
- IV. 花嫁の用意は、勝利者たちの命における円熟にかかっています——啓 19:7. ヘブル 6:1. ピリピ 3:12-15. エペソ 4:13 :
- A. キリストを愛する者は神聖な命の円熟において、シュラムの女となります。これは、彼女がキリストの複製また複写となつて、彼と結婚するのにふさわしくなっていることを表徴しています——雅 6:13. 啓 21:9-10。
- B. 新約において「円熟」という言葉は、信者たちが神の命において完全に成長し、完全にされていることを指すのに用いられています。これは、わたしたちが神聖な命において成長し円熟して、完全に至る必要があることを示しています——マタイ 5:48。
- C. わたしたちは成長し続けて、ついには神聖な命において円熟して、完全に成長した人となり、キリストの豊満の身の丈の度量に到達する必要があります——エペソ 4:13。
- D. わたしたちは使徒パウロから学んで、キリストの命において成長し円熟することを追い求める必要があります——ピリピ 3:12-15. コロサイ 1:28。
- E. 円熟した信者は、からだを認識し、からだを顧慮し、からだを尊び、からだの感覚を持ち、からだを中心とします——I コリント 12:8-19, 21, 24. コロサイ 3:15。
- V. 花嫁を構成する勝利者は、分離した個人ではなく、団体の花嫁です。花嫁のこの面のためには、建造が必要です——マタイ 16:18. エペソ 4:15-16 :
- A. 勝利者は、命において円熟しているだけでなく、また共に建造されて、一人の花嫁となっています——啓 19:7-9. 21:2, 9-11。
- B. 聖書の中心的で神聖な思想とは、神が神聖な建造（彼ご自身と人性とのミングリング）を求めているということであり、また神が生ける構成体（彼ご自身によって贖

われ、彼ご自身とミングリングされた生ける人から成る生ける構成体)を求めているということですから——マタイ 16:18. ヨハネ 14:20. エペソ 4:16. I ヨハネ 4:15. 啓 21:2。

- C. 神の建造の原則は、神が彼ご自身を人の中へと建造し、人を彼ご自身の中へと建造するということです。神が人とミングリングすることは、神が彼ご自身を人の中へと建造することです。人が神とミングリングすることは、人が神の中へと建造されることです——エペソ 3:17 前半。
- D. 神の建造は、三一の神の団体の表現です——I テモテ 3:15-16. ヨハネ 17:22. エペソ 3:19 後半, 21。
- E. 信者仲間たちと共に建造されることは、神聖な属性の一つ(神聖な一)にしたがった、主を忠信に追い求める者たちに対する、主の最上で最高の要求です——ヨハネ 第 17 章。

**VI. 召会は、花嫁また花婿の配偶者として、美しさを必要とします——ヨハネ 3:29. 雅 1:15-16. 4:1-5, 7. 詩 45:11 前半. 50:2 :**

- A. 「あなたの目は美しさの中にある王を見て」(イザヤ 33:17 前半)、「王はあなたの美しさを慕い求めるでしょう」(詩 45:11 前半)。
- B. キリストのからだの団体の構成の中には、多くの美しさ、すばらしさ、美德があります——エペソ 1:22-23. 4:16. 雅 1:15-16. 4:1-5, 7。
- C. わたしたちクリスチャンが現す美德は、神聖な属性における栄光と美しさの現れであるべきです。クリスチャンは神性を要素また実際として持っています。彼らから、神聖な栄光と美しさは人の美德を通して表現されます——I コリント 10:31. ピリピ 1:20-21 前半. 4:5, 8。
- D. 花嫁の美しさは、花嫁が花婿としてのキリストにささげられるためです——エペソ 5:27. ヨハネ 3:29. 啓 19:7-9 :
  - 1. 花嫁の美しさは、召会の中へと造り込まれた後に召会を通して表現されるキリストから来ます——エペソ 5:27. 3:17。
  - 2. わたしたちの唯一の美しさは、キリストがわたしたちの内側から輝き出すことです——詩 50:2. 90:16。
  - 3. キリストがわたしたちの中で評価するのは、彼ご自身の表現です——雅 4:7。

**VII. 啓示録第 19 章 11 節から 21 節によれば、キリストは戦う将軍として、彼の軍隊である彼の花嫁(勝利を得た信者たち)と共に来て、反キリストと彼の下の王たちと彼の軍隊に対して、ハルマゲドンで戦います :**

- A. キリストが彼の軍隊と共に来て、反キリストと彼の軍隊と戦う時、彼は人の子として来ます。彼は人の子として、彼にふさわしく彼を完全にする配偶者、彼の花嫁を必要とします——啓 14:14. 19:7-8, 11-13。
- B. キリストは戻って来る前に、まず婚礼を持ち、彼の勝利者を彼ご自身へ結合して一体とならせます——7-9 節 :
  - 1. キリストは、長年にわたり神の敵に対して戦ってきた人と結婚します——エペソ 5:27. 6:10-18。
  - 2. 啓示録第 19 章においてキリストは、すでに邪悪な者に勝利を得ている勝利者と

結婚します。

- C. 婚礼の後、キリストは彼の花嫁と共に来て、反キリストを滅ぼします——啓 19:11-13。
- D. 婚宴の礼服は、わたしたちの主観的な義としてわたしたちから生かし出されたキリストです。これにより、わたしたちは婚宴に参加する資格を持つだけでなく、また軍隊に加わる資格をも持って、究極の戦いにおいて、すなわちハルマゲドンの戦いにおいて、キリストと共に反キリストと戦います—— 8, 14 節。

© 2016 *Living Stream Ministry*